



## 五輪は止めて、コロナ対策、困窮者支援に

新型コロナの大流行の中で、新たな脅威はインド株。若い層に感染者が増え、しかも感染経路が分からない。緊急事態宣言を6月20日迄延長。菅首相は「引き続き飲食店の時間短縮やお酒やカラオケの提供の停止をお願いします」と云うが、これは効果のなかった「短期集中の緊急事態宣言」を続けるだけ？

中国では広州市リールン地区で感染者が見つかる、その隣接地区まで二二〇万人にPCR検査。感染者を見つけて隔離。感染拡大を防いでいる。

雇用は  
菅首相は「雇用を守って参ります」と云うが、5月末の完全失業率は2・8%で前月から増えている。  
派遣切りに遭っても、

派遣切りに遭っても、

新たな派遣先を得るのを諦めた人も多い。

朝日新聞には「大阪で講師業だった女性はコロナで仕事が無くなり、ミルクが買えなくてゼロ歳の子に水を飲ませた」と出ていた。

政府は住民税非課税世帯に給付金を出す決めたが未だにこの女性には届いて居ない。医療体制も危機に瀕している。

こんな時に「しっかりと対策をしてオリンピックをやる」と菅首相。危機に瀕している医療体制から、オリンピックに人を出せと云う。

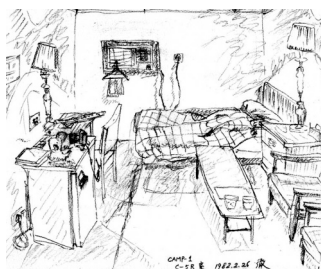
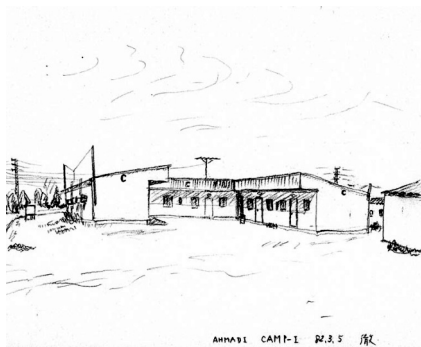
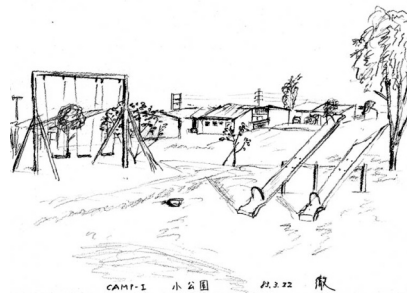
尾身会長も「今の感染状況での開催は普通はない」と云っている。

五輪を早く止めて、予算を困窮者支援に回すべきでは？イージスアショアなど兵器も考え直すべきでは？

あなたはこう思われますか？

## クウェートにて

クウェート ミナアルアハマディ  
一九八二年三月



一九八二年頃、プラント建設で、中東のクウェートに滞在。

「砂漠」と云うとさらさらした砂のイメージだが、この辺りは「土漠」だった。

日中50度と熱いので水道から熱いお湯が出た。一方、建物内の貯湯式ボイラーのスイッチを切っておくと、本来お湯が出る蛇口から冷たい水が出た。

仕事の後、熱い土漠でテニス、ゴルフという強者もいたが、日中、うっかり手摺りを掴むと「あちっち」となるプラント内を走り回っていた私は休むのが肝心。スケッチをしたり、フルートに挑戦した。クーラーの音が凄いの、誰も文句は云わないが、自分でも音が良く分からなかった。サソリを捕まえてプラントの液体窒素で凍らせ、お土産にした。

